

生協の現況 2021.3.1現在	
組合員	31,654人
出資金	15億4,281万円
一人平均	48,740円
2020年度増加	
組合員	1,024人
出資金	10,722万円

東京ほくと

一人は万人のために万人は一人のために

2021年4月号

機関紙
東京ほくと



ほくとLINE



東京ほくと医療生活協同組合

住所 〒114-0003 東京都北区豊島3-4-15
発行「東京ほくと」編集委員会 TEL03(3913)9100
ホームページ <http://www.t-hokuto.coop>

助け合い精神は私たちの基本

～フードバンク「助かりました」～



宣伝効果もあって、始まる前から長い行列ができた

「折り込みのピラを見た、食料を届けた」「寄付したい」「寄付したい」と60件以上の電話やメールをいただきました。組織部にも多くの食料

必要とする方への支援、開始前から期待の行列
年末から各地域で取り組まれているフードバンク（※）を北区でも開催するため、東京ほくと医療生活協同組合は協力団体として準備を進めました。コロナ禍で経済的に困窮し支援を必要とする方がいる、と私たちは感じていました。
2月21日、赤羽公園で第1回北区フードバンクを開催しました。天気も良く、入口での呼び込みや周辺へのチラシ事前配布の効果もあり、始まる30分前から長蛇の列となりました。

初回に用意した150セットは45分で、追加の100セットも30分程度で配布が終了しました。当日も含め約50人のボランティアの協力がありました（東京ほくとからは組合員10人以上が参加）。
1月から実行委員会を開き、短期間の準備となりました。コロナ感染対策のため様々な工夫をしました。会議はオンライン、日々の連絡や相談はLINEグループで行いました。地域の民主団体の方々や区議会議員が協力してくれました。食料提供や寄付依頼のチラシ作成、新聞への折り込み、提供者の対応や集荷作業、保管場所への搬入、仕分け作業など前日まで慌ただしく過ぎました。開催の告知はSNS、新聞の告知欄を利用しました。

組合員がさまざまな面で協力

地域の善意により、たくさんの方々が食料が配布可能に



品や寄付がありました。困っている人を助けたいという思いが伝わってきて勇気づけられました。

高校生や大学生もボランティアで参加



求められる次回開催、医療生活協同組合らしい関わりを

今後の課題は2回目を実施することです。当日、ア

ボランティアで参加して

昨年来、新型コロナによって人々の生活が一変しました。行動が制限され、出歩くことも罪悪かのように。職を失った人、学校へも行けず、アルバイトができない学生。家に閉じこもっているという人につながることができません。そんなとき、北区でもフー

ドバンクを立ち上げると聞いてお手伝いしました。前日の準備では、集まったボランティアが手際よく、基本セット作り、お米の小分け、自由に選べる品物の整理を行いました。軽々と荷物を運ぶ若者たちの頼もしいこと。
当日、公園内にいる人々にお知らせのチラシを配りました。最初は何かが始まるのかとげんなり顔をする方

ンケットに80人以上から回答があり、必要としているものを知ることができました。これを参考に、さらに充実させていきたいと思えます。経験者、少人数でも実施できるようになられたらと思います。
今、フードバンクが必要とされていることを実感しました。困っているときはお互いさま、助け合ってください、医療福祉生協の基本に立った取り組みができたと思います。（王子生協病院リハビリ科・渡辺幸彦）
※フードバンク：品質に問題はなく包装の印字ミスや過剰在庫などの理由で、流通に出すことができない食品を企業などから寄贈してもらい、必要とする団体や個人に無償で提供する活動

もいしましたが、「もらえるんですか」「助かります」という声が多く聞かれました。ボランティア参加してみても、人と接するのは楽しいと思えました。青空のもとで体を動かすのは楽しいし、受け取る方たちの笑顔を見ることができました。これからも多くの人々の意をくむ企画が続くことを願っています。
（理事・小川早苗）

王子生協病院は「無料低額診療」事業を行っています
医療費でお困りの方はご相談ください
☎ 3912-2201

注射器

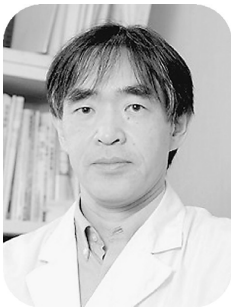
NHK大河ドラマ『青天を衝け』の主人公渋沢栄一については、昨年1月号の当欄でも紹介されていた

が、日本資本主義の父といわれ数多くの事業を興し現代の日本をつくったとされている。たまたま地元に住む者としては、彼の残してくれた美しい庭園に恩義を感じている。戦前から開放されている庭園は私たちの憩いの場でもあり、家族でお昼を食べたことなど懐かしい思い出▼時を経て、私たちの活動にも貢献していただいた。「この芝生の上で音楽を楽しみたい」とお願いしたところ快く承諾して下さい、夏の一夜、蚊取り線香の煙の中、地域に住むプロ、アマによる器楽の独奏、合奏などで野外コンサートを開催することができた。これがその後定例化された、サロンコンサートが始まりとなった次第▼コロナ禍で自由な暮らしの今から見れば夢のような昔話になってしまうが、頭を切り替えて新しい生活を創造していくしかない。今や行きすぎた資本主義の矛盾が一挙に吹き出し、それは様々な困難を私たちに及ぼしている。巨大な自然災害や得体的知れぬ病など▼これから世界はどう動いていくのだろうか。資本主義の終焉がさやかれる今、渋沢が生きていたらどう思うだろうか。何よりこれからの私たち自身が考え、新しい道をつけていくことだろう。（今）

理事会だより 3月27日

理事長あいさつ

今泉 貴雄



職員の努力で感染拡大防止、応援が大きな励みに

新型コロナウイルスのワクチンに期待を持つ方、不安もあり打ちたくないと思う方もいると思います。ワクチンの供給が遅れて、区民が接種できるのは5月以降と考えられます。接種してもコロナ前のような生活に戻ることにはないと覚悟して、引き続き3密に気をつけて手洗い、マスクの着用を続けていくことが重要です。

新型コロナウイルスのワクチンに期待を持つ方、不安もあり打ちたくないと思う方もいると思います。ワクチンの供給が遅れて、区民が接種できるのは5月以降と考えられます。接種してもコロナ前のような生活に戻ることにはないと覚悟して、引き続き3密に気をつけて手洗い、マスクの着用を続けていくことが重要です。

短期間で経営改善を追求、職員の意識改革から取り組む

昨年度はコロナ感染症の経営的な影響がはなはだ大きく、マイナスになりました。各事業所や、法人院所長会議などで経営改善について話し合ってきましたが、根本的改善策を打ち出せませんでした。

今年度は昨年度の延長では許されず、コロナ後の医療活動をも見据えて、抜本的に改善を図る必要があります。今までなら数年かけて改善していくべきところを、短期集中的に改善していく必要があることと肝に銘じた対応が求められると思います。管理者だけでなく、職員一人ひとりがこのことを理解して一丸となり、意識改革を行い、取り組んでいくことが必要です。

共助やつながりを大切に、コロナ後に向け活動強化を

国は団塊の世代が後期高齢者になる2025年をめぐりに地域包括ケアシステムの構築を掲げています。私たちも生協活動を強みととらえ、めざす地域包括ケアを考えてきました。

この一年間、私たちの事業規模でできる範囲で、外来および病棟でコロナ感染症患者さんへの診療を行いました。残念ながら感染症にかかったスタッフはいたものの、大きな感染拡大にはならなかったことは、なによりも各スタッフが感染防御してきた結果です。感染症が収まっていない現状では、今後も同じように感染症に注意して業務にあたる必要があります。

組合員の方や企業から、応援の言葉や支援をいただきました。職員にとり大いに励みになりましたし、地域とのつながりを感じることができました。

今年度は昨年度の延長では許されず、コロナ後の医療活動をも見据えて、抜本的に改善を図る必要があります。今までなら数年かけて改善していくべきところを、短期集中的に改善していく必要があることと肝に銘じた対応が求められると思います。管理者だけでなく、職員一人ひとりがこのことを理解して一丸となり、意識改革を行い、取り組んでいくことが必要です。

共助やつながりを大切に、コロナ後に向け活動強化を

国は団塊の世代が後期高齢者になる2025年をめぐりに地域包括ケアシステムの構築を掲げています。私たちも生協活動を強みととらえ、めざす地域包括ケアを考えてきました。

コロナに負けるな！

怖がらないで、ワクチン

北足立生協診療所

所長 渡邊 隆将



北足立生協診療所 所長 渡邊 隆将

新型コロナウイルスの世界の流行の中、ついにワクチンが日本国内で接種開始となります。皆さんの中ではワクチンに関する期待とともに、不安を抱えている方もいるかもしれません。今回はQ&A方式でこのワクチンについて解説をしていきたいと思います。

新型コロナウイルスの世界の流行の中、ついにワクチンが日本国内で接種開始となります。皆さんの中ではワクチンに関する期待とともに、不安を抱えている方もいるかもしれません。今回はQ&A方式でこのワクチンについて解説をしていきたいと思います。

この一年間は満足な組合員活動もできず、多くの組合員にとってプラスチック・オンラインになっていると思います。しかし生協の根本をなす、共助、そして根底にあるつながりは必要要素であることに変わりありません。コロナ後も見据えて活動を考え、強化していくことが求められます。

今年、新たな職員を迎え入れました。彼ら、彼女らが職場に慣れて職員として成長・活躍することを願います。職員、地域の組合員の皆さん、今後ともご支援よろしくお願いします。

共助やつながりを大切に、コロナ後に向け活動強化を

国は団塊の世代が後期高齢者になる2025年をめぐりに地域包括ケアシステムの構築を掲げています。私たちも生協活動を強みととらえ、めざす地域包括ケアを考えてきました。

新型コロナワクチン学習会

《ワクチンの正しい知識を学び、疑問を解消しましょう》

4月23日(金) 午後2時～3時(開場午後1時45分)

講師：北足立生協診療所・日向佑樹医師

参加方法

①会場で参加(感染予防のため、先着8人まで)

②ZOOMで参加(4月20日までに下記へ申込んで下さい)

名前・支部名・住所・連絡先・講師への質問をメールかFAXで送信

・メール: hokutokenkou.c@gmail.com

QRコードをご利用ください→

・FAX: 3912-9333

主催: 東京ほくと医療生活協同組合選挙管理委員会

(問い合わせ: 組織部 ☎3913-9100)



第81回通常総代会総代選挙公告

定款第54条及び総代選挙規約に基づき、総代選挙を実施します。総代立候補は所定の立候補届けにて選挙管理委員会事務局に提出願います。

記

一、立候補資格者

組合員本人(1月31日現在の組合員名簿登録者)

一、選挙区及び選挙区ごとの定数は本部に掲示

一、立候補届け出期間

2021年3月10日から4月15日まで

一、選挙の方法

選挙区定数を基に投票で行う

一、立候補の届出

東京ほくと医療生活協同組合選挙管理委員会事務局(組織部内) ☎3913-9100

Q3. アナフィラキシーについて強い反応は心配ないの？

ワクチン接種後すぐ(ほとんどの場合15分以内)におこる強いアレルギー反応は「アナフィラキシー」とよばれます。このワクチンでは百万人あたり数人におこると推定されています。

Q2. ワクチンのよくある副反応は大丈夫なの？

新型コロナウイルスワクチンの実用化がすぐ早かったことで、なにか陰謀でもあるのではと不安に感じる方もいると思いますが、実用化が早かったのは主に2つの理由によります。

共助やつながりを大切に、コロナ後に向け活動強化を

国は団塊の世代が後期高齢者になる2025年をめぐりに地域包括ケアシステムの構築を掲げています。私たちも生協活動を強みととらえ、めざす地域包括ケアを考えてきました。

きると言われています。他のワクチン(百万人に1人くらい)よりは多いですが、みなさんが普段使うことのある薬(鎮痛薬:百万人に千人くらい、抗菌薬:百万人に3百〜4千人くらい)よりずっと確率は少ないです。それでも万が一アナフィラキシーがおきた場合に備えて、どこの接種会場にもすぐに治療するための機材が設置されています。適切な治療が行われれば実際に命にかかわることはほとんどありません。

Q4. ワクチンの効果は？

すばらしい効果が報告されています。たとえばファイザー社のワクチンでは、ワクチンを接種すると95%の発症予防効果(ワクチンをうたない場合と比べて、新型コロナウイルスを発症する可能性が95%減る)、また重症化の予防効果もあります。

私はこのワクチンはすばらしい予防効果が期待でき、副反応も心配ないの、すぐにでもうたいたいと思っています。できるだけ多くの方にお勧めしたいと思っていますが、持病など色々な事情によってワクチンをうつことが難しい方もいることと思います。諸事情によりワクチンをうたない方がいたとしても、どうかその方を差別したりすることのないよう、お互いの立場を思いやるような地域であり続けてほしいと思います。

Q3. アナフィラキシーについて強い反応は心配ないの？

ワクチン接種後すぐ(ほとんどの場合15分以内)におこる強いアレルギー反応は「アナフィラキシー」とよばれます。このワクチンでは百万人あたり数人におこると推定されています。

Q2. ワクチンのよくある副反応は大丈夫なの？

新型コロナウイルスワクチンの実用化がすぐ早かったことで、なにか陰謀でもあるのではと不安に感じる方もいると思いますが、実用化が早かったのは主に2つの理由によります。

共助やつながりを大切に、コロナ後に向け活動強化を

国は団塊の世代が後期高齢者になる2025年をめぐりに地域包括ケアシステムの構築を掲げています。私たちも生協活動を強みととらえ、めざす地域包括ケアを考えてきました。

◎王子生協病院は、個室も含め全室差額ベッド料はいただいております。

- 365日24時間対応の在宅分野の再編・強化をすすめます。他法人からの紹介窓口を設け、より紹介してもらえる訪問診療をめざします。事業統合した訪問看護ステーションの運営を安定させます。
- 病院・診療所の外来診療は、家庭医の機能を活かしします。
- 診療所での無料低額診療事業開始をめざします。
- 歯科は、口腔機能低下の早期発見、早期介入に取り組みます。
- 介護職員の確保に努め、介護事業の今後の展望づくりをすすめます。

4 地域組合員と職員組合員の育ちあい

- 地域の困難事例を通じて、社会の問題を学び、日常の活動に活かしていきます。特に貧困の拡大、医療・介護の自己負担引き上げ、社会制度の問題を変えていく力にします。
- コロナ感染やワクチン、健康づくりなど医療・介護の専門家として情報を積極的に発信し、同時に地域から学びあう機会をつくります。
- 事業所の制度教育は、接遇とSDGsをテーマにとりくみます。
- 医療生協の通信教育への参加を推進します。



5 働きやすい職場と人づくり・後継者確保

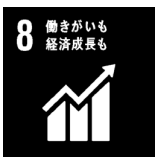
- HPHの学習や地域活動に積極的に参加します。事例検討を重視し、研究交流会などで積極的に発信していきます。
- コロナ禍にかかわるメンタルヘルス、職員面談、相談活動をすすめます。
- ハラスメントのない職場をめざします。法人研修会のテーマにして取り組みます。
- 妊活や子育て・介護の支援など、制度検討を新たに始めます。ワークライフ検討委員会を設置します。
- 業務の効率化、見直しで残業削減に取り組みます。
- 多様性を認め合える働きやすい環境をめざします。
- 事業所内、法人内外での多職種連携を強化します。
- 医師確保、養成、定着の取り組み
医師の働き方改革に沿って、医師がやりがいをもって働き続けられる仕組みを作ります。



【後継者確保の目標】
医師（初期研修医2人、後期研修医2人、既卒1人） 医学部奨学生（2人増） 看護師（新卒9人、既卒10人） リハビリ（新卒3人、既卒3人） 介護職（新卒2人、常勤2人、非常勤5人） 事務（新卒2人） 歯科（研修医1人）

6 経営課題

- 生協の経営、債務超過と資金困難の2つの危機を迎えています。いまある全ての事業所を継続できるのか、職員の労働条件を維持できるのか、まさに瀬戸際の局面にあります。今年度中に経営構造の転換をはかる必要があります。課題の具体化と執行の速度が求められます。全ての職員はコロナ禍の困難と東京ほくとの弱点を事実として受け止め、医療・介護を守る運動と、経営の改善に力をつくしていきましょう。「コロナ禍だから赤字で良い」というわけにはいきません。コロナ禍でも銀行返済やリース料支払いなど多額の費用は、いつも通り発生します。職員が生協で働きつづけられる労働条件を維持する必要があります。引き続き経営環境は極めて厳しいことが予想されますが、「必要利益を確保するにはどうしたらよいか」を粘り強く追求していきましょう。
- 2021年度の経常利益は目標70百万円とします。
 - 今後10年間で必要となる必要利益目標（年平均125百万円）に早期に到達するための事業活動も含めて、経営構造の転換を図ります。
 - 部門別損益、月中の予算管理など、経営マネジメント力を高めます。
 - 出資金（資産）を増加するために、組合債（負債）を出資金へ振り替えることをすすめます。
 - 生協北診療所の事業に着手するための財務力強化をめざしていきます。



7 生協組織の拡大強化の課題

(10)不平等 (11)都市 (12)生産・消費 (13)気候変動 (14)海洋資源 (15)陸上資源 (16)平和 (17)実施手段



- 全国4課題に向けた目標
仲間増やし1,500人、増資1億5000万円、新班55班、班会開催1200回、担い手増やし150人をめざします。
- 世代別の取り組みを重視し、若い世代の生協参加をすすめる提案をしていきます。
- コロナ禍で活動できる支部ガイドラインづくりに取り組みます。
- 新支部づくり（支部分割）をすすめます。
- SDGs（持続可能な開発目標）について組合員、職員とともに学習と活動の具体化を検討します。
- 組合員が安心して人生の終末について考え、尊厳を持って人生を全うするための学習をすすめ、生協だからできる取り組みや考え方を検討します。



用語解説&資料集

- (※1)
- 『生協活動5つの基本』+α
▶5つの基本
i マスクの着用と消毒 ii 間隔を空ける
iii 換気 iv 体温測定 v 手洗い
▶+α 食事、カラオケ、麻雀禁止など

- (※2)「手作りマスクコンテスト」
健康づくり委員会、福祉たすけあい委員会の共催企画。30人52作品の応募があり、機関紙東京ほくとに写真集を掲載した。

- (※3)「水害から命を守るためにやっておきたい5つのこと」
①避難するかどうかを決める：地域の危険度をハザードマップで確認。
②避難先を決める：できれば分散避難（自宅または親戚、知人宅、ホテル）、だめなら高いところにある避難所に逃げる。足立区、荒川区は全域が浸水域なので区を越えた避難も考える。高台やマンションの高い階に住んでいる人は知り合いに声をかけ、泊めてあげるなど、お互いに助け合う。
③避難するタイミングを決める：早めが良い。「警戒レベル4」（避難勧告）では遅いこともあるので、「警戒レベル3」（避難準備、高齢者等避難開始）で避難する。台風19号ではたくさんの人が逃げる途中で車の中で亡くなった。風や雨が強くなる前に移動する。
④停電や断水にそなえる：食べ物や水は3日分、できれば7日分用意しておく。4人家族なら36食、水も36ℓ（一人1日3ℓ）必要。簡易トイレも用意しておく。懐中電灯や乾電池、携帯の充電器、卓上コンロ消毒液、持病の薬（2週間分）なども必要。
⑤情報を集める：住んでいる地域のLINEアカウントや防災メールを登録しておく。東京都の防災アプリも役に立つ。

- (※4)SDGs—2015年9月に国連が採択した「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals: [エス・ディー・ジーズ]）。2030年を達成期限とする17のゴール、169のターゲット、およびその進展を評価するための指標を持つ包括的な目標。SDGsは「世界の貧困をなくす」「持続可能な世界を実現する」ことをめざす。

- (※5)「ハラスメント・ゼロ」
ハラスメントは個人としての尊厳を不当に傷つける、社会的に許されない行為。職場におけるハラスメントは労働者の尊厳を傷つけ、個人の能力をさまたげ、職場秩序や業務の遂行を阻害し、法人の社会的な評価を下げることにもなる大きな問題である。東京ほくと医療生協は就業規則にハラスメントの禁止を明文化し、「ハラスメント・ゼロ」の職場をめざしている。

- (※6)CFMD—家庭医療学開発センター（Centre for Family Medicine Development: CFMD）は、家庭医療の教育・研究活動、診療所開発により医療生協組合員および地域の人々の健康状態の向上に資することを使命としている。日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療後期研修プログラムを運営しています。日本や世界各地で家庭医療のリーダーとして活躍できる人材を育成している。

第81回通常総代会
日時：2021年6月26日（土）午前10時開会
会場：北とぴあ さくらホール
（北区王子1-11-1）

第3次中期計ミッション
いのちと人権を守り、地域のひとびとと
協同して健康なまちづくりにとりくみます

2021年度方針(案)

2021年度の3つの柱(テーマ)

- 新型コロナウイルス感染症に対し「いのちをまもる」医療と介護、生協活動をすすめましょう
- 事業所が継続するために、必要な利益を確保できる経営構造への転換をめざします
- 地域の困難に向き合い、きずなを強めて、誰もとりのこされないまちづくりをすすめましょう

1 情勢と私たちの課題

- 新型コロナウイルス感染症に関して、世界でも日本でも先が見通せない状況です。ワクチン接種も始まりますが、実施計画の全貌も明らかになっていません。コロナ禍で医療体制も逼迫しています。また、高齢者のひとり暮らしなど、社会的孤立がいのちにかかわる問題になっています。組合員のいのちを守り、政府や行政の感染対策を充実させる運動をすすめ、職員と地域組合員が生協の取り組みとして、感染症から地域をまもりましょう。
- 1月22日、国連の核兵器禁止条約が発効しました。核兵器の開発・実験・生産・保有から使用と威嚇にいたるまで全面的に禁止するとしており、人類史上初めて核兵器を違法化する国際法です。「核の傘」を取り払い、「軍拡ではなく、社会保障」への転機にも通じるものです。被爆国日本の政府は早急に批准するべきです。
- 安倍政権から引き継いだ菅首相は「まず自助」と自己責任を強調し、後期高齢者の医療費窓口2割負担など社会保障削減を進めています。しかし、コロナ禍で社会保障の充実、医療・介護体制の強化が必要ということ、自己責任ではなく、人々の支えあえる社会を求める声が強くなってきています。こうした点を背景に菅政権は急激に支持を失っています。今年は総選挙もあります。安心して暮らせる政治をつくる契機にしていきましょう。また、東京都議会議員選挙(7月)で都民の暮らしを守る都政にしていきたいと思います。
- 貧困格差、地球温暖化、ジェンダー問題など、世界で共通している課題に取り組む運動が広がっています。「誰もとりのこされない社会をめざす」ために2030年までに取り組む17の行動目標—SDGsは、生協の「誰もが安心して住み続けられる」に通じるものです。

2 困ったときに助け合える、健康なまちづくりに取り組みます

(1) 災害に強く、多様な人々が支えあう、組合員活動

- 災害時などのたすけあい(避難の声かけ)ができるよう、日ごろから顔の見えるつながりづくり・さりげない見守り活動をすすめます。
- SDGsの取り組みを事業所と地域で進めます。とくに未来を担う世代とともに地球温暖化をストップさせる運動と、ジェンダー平等社会の実現にむけた学習や連帯行動に取り組めます。



(2) 健康なまちづくりの取り組み

- コロナ禍で組合員活動が制限される中、できる健康づくりを重視します。
 1. 高齢者のフレイル予防や若い世代の体力低下防止など全世代に向けた取り組みをします。
 2. 健康診断受診率アップのために、行政との学習会を含めたアプローチをします。
 3. インターネットを使った健康づくりを行います。
 4. 王子生協病院HPH委員会と情報共有し、地域での企画を検討し



ます。

5. 健康づくりを担う人を増やします。
 - ・健康づくり学校のリニューアルについて話し合います。
 - ・全支部からの健康づくり委員選出をめざします。

(3) たすけあい活動とかかりやすい

事業所づくりの取り組み

【たすけあい活動】

閉じこもって認知症やフレイルが進行し、精神的にも孤立することが心配されます。まだまだ続くコロナ禍で、私たちは「医療生協があってよかった」と思えるたすけあい活動をすすめます。

- 屋外も含めた「居場所づくり」を工夫すると同時に、SNSを活用しながら、集まれなくてもつながる方法を模索します。
- 職場からの「ささえあいシート」と、個人から発信される「ささえあい依頼書」の活用で、困ったときに助け合える、一人ぼっちにしない工夫をします。
- 子育て世代を応援し、子どもが安心して学び、遊び、育ちあう場づくりをともにすすめます。
- 3区とも、自治体や社協、町会や商店街、学校や購買生協などとの連携を重視します。

【かかりやすい事業所づくり】

- コロナ禍での「いのちの章典」の実践を具体的に論議します。事業所に来る頻度が少なくなった利用者の意見収集を検討します。
- よりよい事業所づくりのために必要な提言を行なっていきます。
- 法人内外の事業所の視察、ボランティア委員会と共催でオンライン形式の学習交流会を検討します。
- 選ばれる事業所になるため、ホームページ充実に向けて理事会委員会としても閲覧を行っていきます。
- 患者満足度アンケートの実施方法、チャートの報告や活用方法について、全国の経験などに学びます。
- 機関紙の「虹の箱」コーナーへの寄稿のありかたを検討します。
- 歯科運営委員会はウェブ活用で医療生協らしい活動を進めます。



(4) くらしと社会保障・平和をまもる取り組み

- 社会保障の充実や平和を守る署名運動をします。
- オンラインも利用して社保学校を企画し、社会保障を学び充実させる運動をすすめます。
- 日本高齢者大会in長野に向け、東京ほくと実行委員会を組織します。
- ピースアクション・原水禁・平和行進に参加し、核兵器禁止条約の批准を日本政府に求める運動や核兵器廃絶の運動に取り組みます。
- 格差と貧困、医療と介護の問題、「誰もとりのこされない」SDGsの視点で、事例を通じて学ぶ企画(事例検討会)を進めます。
- なんでも相談会(荒川区、北区、足立区)に積極的に参加します。
- 地域のフードバンクへの参加協力を考えていきます。



(5) 機関紙の取り組み

- 若年層から高齢者まで、東京ほくとの事業所を利用しない方や非組合員も含めた幅広い層を意識して発信します。
- HPH、SDH、SDGsに関して、先駆的な学びや提起を積極的に行うツールとします。
- 職員も組合員であると自覚し、地域組合員と共に考えるための材料として機関紙を活用してもらうよう、通達や会議などで呼びかけます。
- 魅力的な紙面をめざし、デザイン・掲載内容の抜本的な改革を行います。
- 機関紙のウェブ掲載で見やすさを追求します。



3 患者、利用者の皆さんに親切で安心のサービスを提供します

- ひきつづきコロナ感染の防止対策をとり、職員、患者・利用者、組合員のいのちを守り、地域の医療・介護を守ります。事業所に窓口を作るなど、生協としての相談機能を高めます。



ました。

【かかりやすい事業所づくり】

- コロナ感染拡大で各事業所で利用委員会を開催できないところが多くありました。患者・利用者のコロナ禍での要求（入院患者との面会制限、各事業所の「発熱外来」の実態と問題点など）について議論しました。
- 患者満足度アンケートの活用方法については討議がすすみませんでした。歯科では受付でアンケートを配布し、結果をホームページ、外来待合室に掲示などおこないました。



こども食堂としま虹

(4)くらしと社会保障・平和をまもる取り組み

- 新型コロナウイルスの蔓延によって活動に制限がある中ではありましたが、社会保障の充実や、平和を守る署名運動に取り組みました。
- 憲法集会や全国のピースアクション、原水禁世界大会等はオンライン参加が中心になりました。
- 駅頭で平和のスタンディング活動を行い、委員会のメンバーでプラスターを作りました。バレンタイン行動でもそのプラスターは活躍し、ほぼ例年並みの参加でした。
- 核兵器禁止条約の批准を政府に求める行動で、1.22核兵器禁止条約発効日行動としてタイムカード前にポスターを掲示しました。
- 職員組合員と地域組合員が協力し、格差と貧困や医療・介護の問題を事例を通じて学びあいました。なんでも相談会（荒川区、北区、足立区）を積極的に支援し、参加しました。北区ではなんでも電話相談会にも取り組みました。



バレンタイン行動でのプラスター宣伝



電話なんでも相談会

(5)機関紙について

子育て世代から高齢の方までが読める内容を掲載し、読者ハガキの年齢層が広がりました。コロナ禍での心身の健康づくりを意識し、HPHに関わる記事やHPH委員会からの情報を掲載しました。様々な有識者に寄稿いただいた連載で、地域組合員とともにSDGs(※4)を学び取り組むきっかけとしました。コロナ禍で5・6月号をやむを得ず休刊としました。組合員・職員より新聞継続の要望が多く6月臨時号を発行しました。

3 親切で安心なサービスの提供(事業活動)

- 王子生協病院では外来受付に体温センサーを設置、生協北診療所透析室は隔離室をつくり、感染防止対策を取りました。全ての事業所で発熱外来を開きました。診療では待合室や診察室を分離するなど、感染防止対策を取りました。
- 高齢化がすすむ中で、24時間365日の在宅支援体制が求められています。法人外からの訪問診療の依頼をより円滑にするための窓口一本化をすすめ、2021年4月より実施します。また、訪問看護ステーションは2021年4月に事業統合します。
- コロナ禍の影響で「利用者アンケート」、事業所利用委員会の開催など、感染防止のため従来のように進められませんでした。
- 医師研修発表会、看護介護研究集会、事務集会など、日頃の活動から学び、交流する機会を、感染防止対策もとって行いました。



王子生協病院での体温センサー



診療後はアルコール消毒を徹底

4 地域組合員と職員組合員の育ちあい

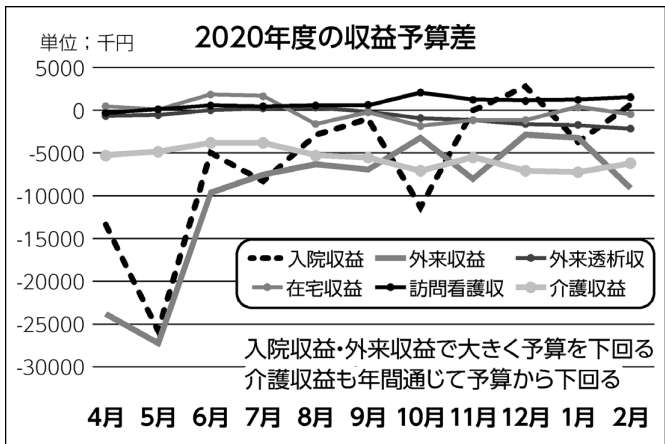
- コロナ禍の影響で各種研修会が中止となりましたが、インターネットを利用した学習会企画に参加できる機会も増えてきました。「SDGs学習会」(1/16)には職員、地域理事50人が38か所から参加しました。機関紙「東京ほくと」でSDGsについて連載中です。
- 通信教育に41人が参加しました。
- 全日本民医連総会方針学習会の職員参加は138人でした。

5 働きやすい職場づくりと人材育成・後継者確保

- 「ハラスメント・ゼロ」(※5)の職場づくりのため、職責者研修「ハラスメントの法的解釈とその対応」を開催(3回)しました。
- 4月の新入職員研修は、感染防止のためWeb環境でプログラムを絞って実施となりました。
- コロナ禍の労働環境の整備に取り組みました。(小学校休校・保育園休園での特別有給休暇制度、在宅勤務制度、都や区の制度を利用した危険手当支給など)。
- 感染防止の対策をとり、看護介護研究会(2/13)、事務集会(12/12)を行いました。
- 医師確保、養成、定着の取り組み
医師確保と養成および定着に努めました。
 - ・2020年度は初期研修医1人、後期研修医4人(王子生協病院2人、生協浮間診療所/CFMD、北足立生協診療所/CFMD(※6))が研修を開始し、2021年度に向けて初期研修医2人、後期研修医2人(王子生協病院)を採用しました。
 - ・医学部奨学生が1人誕生しました。
 - ・医師の働き方改革に伴い、時間外労働時間数や有給休暇5日間の取得の管理をすすめました。
 - ・出産・子育てなど、個々の医師の状況に合わせた多様な働き方を追求しました。
- 医師(初期研修医2人、後期研修医4人、既卒2人) 医学部奨学生(1人) 看護師(新卒7人、既卒7人) リハビリ(2人) 介護職(8人) 事務(新卒1人、既卒2人) 歯科(既卒医師1人、研修医1人、歯科衛生士1人)

6 コロナ禍で大幅減収
公的支援の拡充を

- 事業利益は2月累計で▲180百万円の大幅赤字、コロナ対策の各種補助金を入れても経常利益は▲80百万円で予算に対してマイナス115百万円と大変厳しい状態です。この結果、純資産は40百万円となり債務超過の危機が高まりました。また、資金は福祉医療機構の特別融資612百万円のうち260百万円を運転資金に回してしのいでいる状態です。現在を経営危機にあるととらえ、改善に取り組むことが必要になっています。



- この厳しさは緊急事態宣言が出された2020年4月～7月で昨年より約2億円もの減収になり、その後も外来患者数の減少がつづき、介護施設での利用者制限、区民健診の開始時期の遅れなどで収益が予算を大幅に下回ったことが主な要因です。
- 同時に、低い診療報酬・介護報酬のもとで、そもそも医療・介護事業所は経営にゆとりがありません。そこにコロナ禍で大幅な収益減少になり、経営困難・資金不足となりました。医療・介護体制を維持するために昨年の報酬を補助する要求をしてきました。各種の補助制度は活用しましたが、経営を支える規模ではなく、更なる改善を求めています。

7 組織拡大・強化

- 仲間増やし 目標1,500人に対し1,024人(目標比68%)・増資目標 1億5000万円に対し1億722万円(目標比71%)・班づくり 目標55班に対し7班(13%)・班会開催 目標1,500回に対し287回(19%)・担い手 目標139人に対し36人(26%) ※2/28現在
- 加賀皿谷新支部が誕生しました(北足立地域)。
- 7月～8月「ほくと応援特別増資」に3,022万円が集まり目標達成できました。新型コロナウイルス感染症が拡大する中、生協強化月間は4つの柱で取り組み、10月～11月で合計780人の仲間増やしができました。「～秋冬～ほくと応援特別増資～」に8,432万円が集まりました。コロナ禍で訪問活動ができない中でしたが、感染に注意し奮闘しました。
- コロナ禍でもつながる取り組み「みんなのスマホ教室」に20人の方が参加し好評でした。10月より開始した「ほくとLINE」の登録者は現在200人を超えています。



北足立地域に加賀皿谷新支部が誕生

第81回 総代会

東京ほくと医療生活協同組合 ダイジェスト版 2020年度活動のまとめ 2021年度方針(案)

新型コロナウイルス感染症に対し「いのちをまもる」医療と介護、生協活動をすすめ、誰もとりのこされないまちづくりをすすめましょう

はじめに

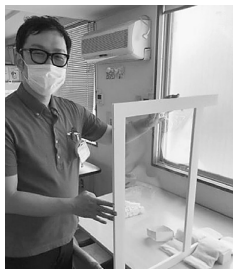
2020年度はコロナ感染症が世界中に吹き荒れた歴史的な年となりました。感染防止に努め、医療・介護に従事した職員の皆さん、本当にご苦労さまでした。また、「いのちを守る」を第一にして生協活動が制限される中でも新しい活動を作り出してきた1年でした。

新型コロナウイルスは、社会の弱点をレントゲンで撮影したかの如く曝け出しました。統廃合による保健所の削減、病床削減、慢性的な医師・看護師不足の中で、医療崩壊が現実的なものとなっています。同時に、「コロナに負けるな」2021年度もこの言葉が必要になるでしょう。今年度も人と人とのつながりを強めて、新しい時代をつくる生協の活動を築いていきましょう。

2020年度活動のまとめ

1 新型コロナウイルス感染症に対して「いのちをまもる」取り組み

- 「職員・組合員・そして地域のいのちをまもる」に取り組みつづけた1年間でした。
- 2月に法人対策本部を設置、職員、患者、利用者を感染から守り、事業を継続するため、対策を講じてきました。病院はコロナ陽性患者の入院受入を行い、病院外来と全ての診療所で発熱外来を開きました。生協北診療所透析室では隔離室を設けて透析患者を診療しました。
- 「密」を避けるため、通所リハ、デイサービスは利用者を制限しました。荒川生協診療所通所リハビリテーションは1月に2週間施設利用を停止しました。一時的な利用制限はあったものの、感染対策に取り組み、法人内事業所でのクラスター発生はありませんでした。
- 健診は実施時期の変更(北区)、緊急事態宣言(1月)がありつつも、組合員同士の声かけ、電話かけなど事業所と組合員が協力しました。組合員から「声をかけてもらってよかった」と感謝されました。
- マスク・ガウン・消毒液が品不足になり、「コロナに負けるな!東京ほくと応援プロジェクト」を立ち上げ、ビニールエプロン、フェイスシールドづくりや動画配信、職員へのメッセージ発信を行いました。地域の生協団体、ママ友にも活動が広がり、全国の医療福祉生協連、民医連でも取り上げられました。作成した感染予防防具は6万枚以上となり、多くの診療現場で利用され、安全安心の医療・介護を実践することができました。



パネルで感染予防(荒川生協診療所通所リハビリテーション)



診療所受付で体温測定



組合員作成の予防防具をつける職員



組合員から多数寄せられた応援メッセージ

- 『生協活動5つの基本+α(※1)』はコロナ禍で組合員のいのちを守ると同時に、健康づくり、たすけあい活動をすすめる大事な指針となりました。
- 「手作りマスクコンテスト」(※2)を機関紙「東京ほくと」紙面を用い

て開催し、好評でした。都内各地で感染拡大する中で、スマホを活用した新しい活動スタイルも模索してきました。

- コロナ禍は日本の医療・介護体制の脆弱さを露にしました。医療・介護現場を圧迫し、経営を困難にしました。コロナ陽性患者を受け入れている王子生協病院の様子や東京ほくとの実態はテレビで放映され、広く社会に発信することができました。
- 芸能事務所、地元商店、個人からマスクの支援、地元保育園・小学生から応援メッセージが寄せられました。



みんなのスマホ教室



保育園の子どもたちから応援メッセージと歌のプレゼント

2 困ったときに助け合える、健康なまちづくり

(1)災害に強く、多様な人々が支えあう、組合員活動

各支部で「コロナ禍での水害時の避難などについて」話し合いをすすめました。「水害から命を守るためにやってみたい5つのこと」(※3)に基づき、避難所の場所や移動手段・避難時の支えあいを全ての支部で確認しました。

(2)健康なまちづくりの活動

- 健康チャレンジは、感染リスクを避けるため、機関紙「東京ほくと」に報告書を兼ねた宣伝を掲載しました。今年の参加者は249人(昨年は601人)。報告会では中止し、記事を機関紙3月号に掲載しました。
- 新型コロナウイルスの影響により、多くの健康づくりの計画を中止・延期しました。スクエアステップ班が2班誕生し「場所があればコロナ禍でもできる、楽しい」と評判でした。
- 「ほくとLINE」で、王子生協病院HPH委員会とともに健康づくりの情報を配信しました。
- すこしおモニターに63人が参加しました。健康診断の受診率アップの取り組みは、組合員が「お元気ですかコール」する際に、一言お誘いをしました。
- 「正しいコロナの怖がり方」学習会を会場参加とリモートの併用で開催し、45人が参加しました。
- 荒川ラインウォーキングは中止し、「ウォーキング月間」を実施し●●チーム、●●人が参加しました。健康チェック数は目標●●回に対し、●●回。10000人に対し●●人でした。接触する健康チェック、青空健康チェックは中止。体温測定を健康チェックとしてカウントしました。



公園で体操する新班ブルースカイ班



スクエアステップ班が2班誕生



コロナについての学習会

(3)たすけあい活動とかかりやすい事業所づくり

【たすけあいの活動】

- 機関紙に折り込んだ「ささえあい依頼書」(お困りごとはありませんか?)に10人の組合員から連絡がありました。「話し相手がほしい」という方に、支部長や理事が電話かけ対応をしました。
- 子ども食堂としま虹は、70食のお弁当をテイクアウトで提供。学習支援ロコクラブも子ども食堂と同じ日に変更し、お弁当を配布しました。子ども食堂のボランティアから職員へカレーの応援を受けました。「福祉たすけあいまつり」は中止し



応援カレーを受け取る職員

外来診療体制のご案内 4月1日現在の体制です(詳しくは、病院・診療所にお問い合わせ下さい) 色文字＝女性医師

王子生協病院 北区豊島3-4-15 診療予約専用電話 03-3912-7248 予防接種は、病院・各診療所にお問い合わせ下さい
☎3912-2201 健康診断予約専用電話 03-3912-5181

		月		火			水		木		金			土
		午 前	午 後	午 前	午 後	夜 間	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	夜 間	午 前
内 科	予 約	菅野	池森 【腎・高血圧】 (2:30～)	今泉 藤沼 大野【心】	森岡 平山陽 大野【心】	高島	松本 宮島 春田	森岡 神田 渡邊郁	森岡 高橋 笹島【循】	村山(1・3・4・5週)	今泉 岸本 密山(1・2・3・5週)			今泉(1・2・3・5週) 藤沼(1・3・5週) 高島(1・3・5週)
	一 般	松本	森岡 櫻井	岸本	青柴	今泉 神田(1・3週) 青柴(2・4週) 常勤医(5週)	親川 王	宮島	近藤 野島	松本 高橋【呼】	星 武田	森岡 密山	森岡 密山	森岡(1・3・5週) 小池(1・3・5週) 岸本(2・4週)
家庭医診療科		上野		打矢				佐野康	佐藤寿		漆畑(1・2・3・5週) 密山(4週)			
小児科 乳児健 予防接種		平山美 診察	平山美 診察・予防接種 乳健	平山美 診察	平山美 診察・予防接種 乳健		名知 診察・乳健	名知 診察・予防接種 乳健	平山美 診察 食物経口負荷 試験(予約)	平山美 (アレルギー予約)	平山美 診察	平山美 診察・予防接種 乳健		越智 診察・予防接種
			○	○入院相談					○入院相談	○				
緩和外来(予約)			○							○				
もの忘れ外来(予約)			○							○				
整形外科		西野	宮本 (予約)	岡田			谷口	篠田	平井		茂呂			整形外科医師
皮 膚 科		上田						井川					松田	
泌尿器科				内田							田中			
上部内視鏡		○		○			○		○		○			○(3週)
下部内視鏡					○			○				○		
健康診断		会社や個人で行う健康診断は、全て予約制となっております。「協会けんぽ」の健診指定をとっています。 電話3912-5181												

(受付時間)午前8:45～11:30/午後1:45～4:00/夜間5:15～7:30 【呼】＝呼吸器内科、【循】＝循環器内科 (訪問診療)月・火・水・木・金・土 救急・急患の方は随時受け付けています。

生協北診療所 北区東十条2-8-5 ☎3913-5271 生協王子歯科 北区豊島3-19-3 ☎3927-9573

		月		火			水		木	金			土
		午 前	午 後	午 前	午 後	夜 間	午 前	午 後	午 前	午 前	午 後	夜 間	午 前
内 科	予 約									伊藤			秋山 (2・3・4週)
	一 般	大場 餌取 (2・4週)	秋山	大場 秋山	大場	秋山	秋山	大場	秋山 大場	秋山	秋山	秋山	大場
専 門		皮膚科医						整形外科 渡会					
胃内視鏡		餌取(1・3週)											餌取(1・3週)

(受付時間)午前8:30～11:30、午後1:00～4:15、夜間4:45～7:00 透析センター 3912-9334
(訪問診療)午後＝月・水・金

荒川生協診療所 荒川区荒川4-54-5 ☎3802-2601

	月		火			水		木		金			土
	午 前	午 後	午 前	午 後	夜 間	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	夜 間	午 前
内 科	田邊	菅野	泉水 (内・小) (予約) 伊沢	伊沢	泉水 (内・小)	田邊 伊沢	伊沢	伊沢	伊沢	田邊 伊沢	伊沢	門松 (内・小)	田邊(1・3・5週) 古池(2・4週)
専 門		水谷(整形) (予約)	永井(整形) (予約)				桑野(糖) (予約)			武井(整形) (予約)			

(受付時間)午前8:30～12:15 午後1:30～4:00 夜間5:00～7:30 ※5月から夜間受付は5:00～7:00となります
(訪問診療)午後＝月・火・水・木・金 (かぜ専用外来)月・水・土11:00～12:15 火・水・木・金15:00～16:00(予約制)

鹿 浜 診 療 所 足立区新田2-4-15 ☎3912-8491

	月	火	水	木	金	土
午前	平山 櫻井	櫻井	平山 林	平山	王	平山 (2・4・5週) 伊藤 (1・3週) 三浦(皮) 月2回
午後			平山		神田	

(受付時間)午前8:45～11:00、午後月2:30～5:00、水・金:3:00～6:00、
発熱風邪症状外来11:00～12:00(予約制)
(訪問診療)午前＝金、午後＝火・水・金水曜午後の時間を変更しました。

江北生協診療所 足立区江北2-24-1 ☎3857-6636

	月	火	水	木	金	土
午前	渡邊(郁) 谷津(小)	渡邊(郁)	渡邊(郁)	渡邊(郁) 中丸(内・小)	渡邊(郁)	渡邊(郁)(1・3・5週) 谷津(小)
午後		渡邊(郁) (2:30～)		渡邊(郁) (4:00～6:00) 高橋(内・小) (2:30～5:00)		

(受付時間)午前8:40～12:15、午後2:10～6:00
(訪問診療)午後＝月・金

北足立生協診療所 足立区入谷3-1-5 ☎3896-9971

	月	火	水	木	金	土
午前	渡邊(隆) 丸山	丸山 日向	渡邊(隆) 藤田 日向	渡邊(隆) 丸山 稲葉(予約)	杉山 丸山 日向	渡邊(隆)(1・3週) 丸山(2・4・5週) 日向(2・4・5週)
午後	渡邊(隆)	丸山	日向		丸山 日向	
夜間		日向			丸山	

(受付時間)午前8:40～12:00、午後1:40～4:15、夜間5:40～7:45
(訪問診療)午後＝月・火・水・木・金

生協浮間診療所 北区浮間3-22-1 ☎3558-8361

	月	火	水	木	金	土
午前	藤沼 安藤	井口 鍋島	安藤 松本	藤沼 近藤	藤沼 近藤	鍋島 正廣 近藤
午後	安藤 近藤	井口 安藤	田中 安藤		佐野(康) 近藤	
夜間		大西 近藤			佐野(康) 正廣	

(受付時間)午前8:40～12:00、午後1:40～4:15、夜間5:40～7:45
(訪問診療)午前＝月・火・水・木・金、午後＝月・火・水・金

汐 入 診 療 所 荒川区南千住8-10-3-101 ☎3807-2302

	月	火	水	木	金	土
午前	佐藤(寿)	佐藤(寿) 中島(整形)2・4週	佐藤(寿)	村山(予約) 高橋	門松(予約) 高橋(小)	佐藤(寿)(2・4週) 金山(1週) 佐野(正)(3週) 名知(小)(1・3週)
午後	郭	高橋	中丸	高橋(1・2・4週)	門 松	
夜間	佐藤(寿)(1・2・3週) 八巻(4週)			高橋(1・2・4週) 門松(3週)		

(受付時間)午前9:00～12:00、午後2:00～4:30、夜間5:30～7:30
(訪問診療)午前＝月・木(1・3週)、午後＝月・火・水・木

お知らせ

債券の新規募集は行っていない。
尚、現在ご協力いただいている債券の更新
については引き続きご継続をお願いいたします。

	月	火	水	木	金	土
午 前	前田 竹田	前田 竹田 望月	前田 竹田 望月	前田 竹田 望月	前田 竹田 望月	前田 竹田 望月
午 後	前田 望月	前田 竹田 望月	竹田 望月	前田 竹田 望月 (1・2週)	前田 竹田 望月	前田 竹田 望月
夜 間			竹田 (1・2週)		前田 (1・4・5週)	

夜間診療については事前にお問い合わせ下さい

(予約時間) 午前9:00～12:00 午後1:30～4:30 夜間7:30
まで 週によって担当医が変わります。詳細は受付まで
(訪問診療) 月～金

歯グラン販売「特売日」 4月 8日、14日、19日、28日
5月 8日、13日、18日、28日

組合員の方、組合員証の提示をお願いします。
価格は窓口にお問い合わせ下さい

王子生協病院・在宅医療部 北区豊島3-4-15 ☎ 3912-6181
ヘルパーステーションのぞみ 北区豊島3-7-2 ☎ 5390-5998
地域ケアセンターわかば 北区豊島3-19-3 ☎ 5959-7875
居宅介護支援事業所ハピネス 北区東十条2-8-5 ☎ 5390-6024
認知症対応型グループホーム ほくとひまわりの家 北区西ヶ原2-24-8リッシェル飛鳥山1・2階 ☎ 5980-6222
荒川生協診療所通所リハビリ(デイケア) 荒川区荒川14-54-5 ☎ 3802-2810
あらかわ虹の里デイサービス 荒川区荒川14-54-5 ☎ 3803-1179
ヘルパーステーション虹 荒川区荒川14-54-5 ☎ 5850-3585
地域ケアセンターはけた 荒川区荒川14-54-5 ☎ 3805-8388
都市型軽費老人ホーム ほくと西尾久虹の家 荒川区西尾久8-13-9 ☎ 5855-7801
デイサービスセンターなでしこ 荒川区西尾久8-13-9 ☎ 5855-7447
鹿浜診療所通所リハビリ 足立区新田2-4-15 ☎ 5902-7179

※2021年4月より訪問看護ステーションを統合し、名称が変わります

訪問看護ステーションほくと 北区豊島3-19-3 ☎ 5902-7156

訪問看護ステーションサテライト十条 北区中十条2-7-13 ☎ 5963-7720

訪問看護ステーションサテライトたんぽぽ 足立区新田3-26-1-101 ☎ 5390-8451

訪問看護ステーションサテライト虹 荒川区荒川4-54-5 ☎ 3803-1179

訪問看護ステーションサテライトなでしこ 荒川区西尾久8-13-9 ☎ 5855-7761

職員募集

- 医師 ●看護師 ●訪問看護師
- 事務 ●歯科衛生士 ●介護職員 ●医療ソーシャルワーカー
- セラピスト(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)

【詳しくは
お問い合わせください】

法人総務部代表電話 03-3927-8864